

学校と連携 子どもも育成

浅口寄島の2団体文科相表彰

浅口市寄島地区で地域と学校が連携して子どもたちを育てている「よりしま魅力化推進協議会」（15人）と「よりしま地域学校協働本部」（55人）の2団体が

本年度の文部科学大臣表彰を受けた。「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化推進」表彰で寄島地区では子どもたちの成長を地域で支える社会を目指し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施している。2団体は2019年に発足。寄島小敷地内で雑草地となっていた地を芝生広場に整備し、小中学生と保護者を対象にした漢字検定で学びの場を提供するなどしてきた。

本年度の受賞は、県内で唯一となる。表彰式は3日に東京であり、両団体の代表を務める笠原宏之会長が出席。8日には浅口市役所で、笠原会長が栗山康彦市長たちに受賞を報告した。



栗山市長(右)たちに文科相表彰の賞状を披露する笠原会長(左)

笠原会長は「表彰は驚いたが、会員たちの地道な活動が実を結んだ。今後もしっかり続けていきたい」と話した。(谷本和久)